

台風9号に学ぶ ～高めよう地域防災力～

防災・減災 フォーラム

2007 in 群馬



参加者
募集

参加無料・先着300名

鏡川の濁流があふれ浸水した住宅地でボートによる消防署員の救助を受ける住民ら＝9月7日午前1時ごろ、富岡市曾木

11/16(金) 開場13:00 閉会13:30 閉会16:30 高崎シティギャラリー コアホール 高崎市高松町35番地1

万が一の災害に備えて、ぜひ、ご参加ください

山間地の多い日本の河川のほとんどは、傾斜がきつく、絶えず水害の危険にさらされています。先日襲来した台風9号は、関東地方を直撃しました。県内では、床上・床下合わせて306棟が浸水、自主避難・避難勧告は最大時で614世帯、1,844人にのぼる被害が発生するなど、県内各地で大きなつめあとを残しました。(10月3日9時現在 群馬県消防防災課調べ) そこで『防災・減災フォーラム』で今回の台風を検証し、地域や家庭の防災対策を再点検し、皆さんと一緒に安全で安心な地域づくりを考えていきたいと思ひます。

台風9号に学ぶ ～高めよう地域防災力～

防災・減災 フォーラム

2007 in 群馬



入場無料
先着300名

11/16 (金)

開場13:00
開会13:30
閉会16:30

高崎シティギャラリー コアホール
高崎市高松町35番地1

● 基調講演



「群馬県の気象災害
～台風被害と防災の歴史～」

田代 大輔 (気象予報士)

● パネルディスカッション
「台風9号に学ぶ～高めよう地域防災力～」

- パネリスト 田代 大輔 (気象予報士)
座間 愛知 (高崎市副市長)
清水 義彦 (群馬大学准教授)
前佛 和秀 (国土交通省高崎河川国道事務所長)
- コーディネーター 小林 忍 (上毛新聞社論説委員長)
(敬称略・順不同)

お申し込み方法

参加希望の方は、郵便番号、住所(参加証送付先)、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、またはメールを利用してお申し込みください。

締め切り/11月9日(金) 必着

● お申し込み先

上毛新聞社広告局「防災・減災フォーラムin群馬」係
お問い合わせ TEL.027-254-9944 (土日祝を除く10:00~17:00)

- ハガキ 〒371-8666 群馬県前橋市古市町1-50-21
FAX 027-254-9904
メール sanka@raijin.com

※定員(300名)になり次第、締切らせていただきます。
※参加者には折り返し、「参加証」をお送りいたします。当日は受付にて「参加証」をご提示の上、ご入場いただけます。
※応募者の個人情報は、「参加証」の発送など、当フォーラムの運営にのみ使用します。

防災・減災フォーラム お申し込みFAXシート

住所	□□□-□□□□	氏名	
年齢	歳	職業	電話番号
住所	□□□-□□□□	氏名	
年齢	歳	職業	電話番号
住所	□□□-□□□□	氏名	
年齢	歳	職業	電話番号

FAX.027-254-9904

24時間受付